



NT

NISSEKI TOKYO

2015
Summer
Vol.6

特集 人が支える**赤十字**

ネパール地震を通じて

Contents

- 04 日本赤十字社東京都支部
平成26年度活動資金使途報告
- 05 れっどくろす News & Topics
- 特集**
06-15 **人が支える赤十字**
ネパール地震を通じて
- 16-18 **RED CROSS HOSPITAL** -都内の赤十字病院産院から-
武蔵野赤十字病院
大森赤十字病院
葛飾赤十字産院
- 19 **Blood Program NEWS**
- 21 **活動資金協力者(社)・団体のご紹介**
- Cross Town-
22-23 **原宿・表参道キャンペーン2015**

編集部からのお知らせ

前号のプレゼント当選者発表

A賞：ウィズモア	B賞：美脚ソックス	C賞：LEDライト
大久保 晶子さん(相模原市)	千葉 千夏さん(台東区) 今関 麻紀子さん(世田谷区) 谷岡 雪恵さん(大田区) 難波 裕宗さん(杉並区) 岸田 由紀子さん(杉並区)	吉田 謙さん(多摩市) 高井 直人さん(江東区) 中藤 博さん(国分寺市) 高木 康巨さん(川口市) 曾我部 よしさん(中央区) 佐々木 尚雄さん(中央区) 谷口 宏子さん(武蔵野市) 杉山 金治さん(港区) 滝口 学さん(品川区) 鈴木 邦穂さん(江戸川区)

(順不同)

今号のプレゼント

プレゼントへの応募は以下の項目を明記の上、ハガキまたはメールでNT編集部までご応募ください。正解者の中から抽選でプレゼントが当たります！
①氏名 ②住所 ③性別 ④年齢 ⑤連絡先 ⑥本誌入手場所 ⑦本誌の感想 ⑧裏表紙のバズルの答え ⑨希望するプレゼント番号

平成27年8月31日消印有効。当選者の氏名および居住地域は次号誌面上で発表します。ご了解ください。

応募・問合せはNT編集部まで
〒169-8540 新宿区大久保1-2-15
Tel: 03-5273-6747
Mail: nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp

ご意見ご感想もお待ちしています！

NT Vol.6 2015年7月発行

■発行・編集・デザイン/日本赤十字社東京都支部
〒169-8540 新宿区大久保1-2-15 Tel: 03-5273-6747 (総務部企画課)
※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断複製(コピー)、複製(転載)を禁じます。
※本誌に掲載されている情報は、発行に伴う情報収集時点での情報を含みますので、その後内容に変更が生じる場合もありますので予めご留意ください。

個人情報の取り扱いについて
日本赤十字社東京都支部ホームページのプライバシーポリシーをご覧ください。

ホームページ: <http://www.tokyo.jrc.or.jp/>

NTは、年4回発行(4月・7月・10月・1月)

表紙写真: ©ivan kmit - stock.foto



救援物資を運ぶネパールのトラック

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

赤 十字の国際活動を生の声で聴く
【講演】ICRC から見た国際問題

献血ルーム feel で 5 月 26 日、赤十字国際委員会（ICRC）駐日事務所の広報統括官の真壁さんによる講演が開催されました。参加したのは学生を中心に約 30 人。体験を交えた講演を熱心に吸収していました。講演の締めでは、自分たちにできることは何か、どうすればいいかをグループ討議。感じた思いを率直に語り合いました。



積極的な参加者とのやり取りの中で進む講演

©Kayoko Saito/ICRC

日赤の若手職員も自主的に参加しました



減 災アピールを都内全体で実施
赤十字のボランティアが活躍

東日本大震災から 4 年が経過した今年 3 月。改めて減災の必要性を知っていただくことを目的に、都内 28 か所、約 400 人近くのボランティアと職員が参加して「赤十字ボランティア減災アピール」を展開しました。各会場では家庭でもできる非常炊出しのレシピ紹介や、ミニ講習や減災体験などを実施しました。

日本赤十字社は被災地の復興に向けて、引き続き力を注いでいきます。



自身も被災したフィギュアスケートの羽生選手が復興への協力を呼びかけ続けます



各地域の奉仕団が中心になって展開。多くの方が足を止めて減災アピールに参加してくださり、スタッフもやりがいを感じられました



東京ソラマチの会場には外国人観光客から地元の方まで様々な方が。東日本大震災の被災地から来た方もいました

講 習受講料のお支払方法が
コンビニ支払に変わります

これまで、救急法などの講習受講料は郵便局からの事前振込をお願いしていました。しかし、多くの郵便局の営業時間は平日の日中のみのため、振込環境の改善が求められていました。

その声にお応えして、平成 27 年 7 月 1 日から、全国 55,000 を超えるコンビニエンスストア支払いを開始します！これで、お近くのコンビニの営業時間であればいつでも支払が可能になりました。利便性が高まった赤十字の講習、ぜひ受講してみてください。

※コンビニ支払を導入している赤十字の施設は東京都支部のみになります。
※平成 27 年 9 月以降の講習が対象です。
※詳しくはホームページをご覧ください。担当までお問い合わせください。

今年もやります！
夏のイベント



■親子で減災セミナー

日時：平成 27 年 8 月 8 日（土）10 時～ 15 時
場所：日本赤十字社東京都支部
（新宿区大久保 1-2-15）
内容：親子で一緒に災害や、災害の被害を減少させる知識と技術を学べます



■キッズジャンボリー

日時：平成 27 年 8 月 12 日（水）～ 14 日（金）
各日 10 時～ 17 時
場所：東京国際フォーラム
（千代田区丸の内 3-5-1）
内容：献血の仕事を疑似体験しながら、血液の大切さを学べます

支出総額

1, 288, 572, 149 円



救護・救援活動

Disaster Relief

28.1%

大きな被害をもたらす災害が頻発する時代のなかで、赤十字が担う役割も大きくなっています。どんなに脅威的な災害に対峙することになっても、赤十字としてできることを確実にを行うために日々、体制の強化を進めています。



1月 被災地派遣要員宿泊訓練を実施

皆さまからのご支援は、「苦しんでいる人を救う」チカラとなっています。

奉仕団・青少年赤十字

Red Cross volunteers & Junior Red Cross

12.6%

赤十字活動は常にボランティアとともにあります。赤十字の理念を共有するパートナーとして、それぞれのフィールドで活動を実践しています。また、それを次世代につないでいくために青少年の育成にも取り組んでいます。



5月 赤十字運動期間での活動資金募集活動

21.6% … 活動の運営管理

救急法等の講習

Safety Services

4.0%

災害時だけでなく、日常のなかで起きる事故に対して、一人でも多くの人に人命を救う方法を身に付けていただくことは非常に大切なことです。私たちはより多くの方々に講習を受講していただけるよう、受講環境の改善や指導員の養成などに努めています。



7月 海での水上安全法講習

積立金（災害時資金・施設整備）… 13.2%

社屋修繕 … 0.9%

社会福祉施設の運営 … 2.3%

看護師等の養成 … 1.1%

広報活動 … 3.4%

社員の加入促進 … 11.2%

献血推進 … 1.6%

特集

人が支える赤十字

ネパール地震を通じて



2015年4月25日、ネパールの首都カトマンズ近郊で起こったマグニチュード7.8の大地震。ネパール赤十字社をはじめ、日本を含む世界の赤十字は発災直後から活動を開始し、2か月以上たった今でも支援を続けています。その支援活動を、東京から支える人、ネパールで支える人、それを伝える人とは。今回のネパール地震を通して、人が支える赤十字の姿をひもときます。

4 言葉

公用語はネパール語です。

インドのヒンドゥー語との共通点が多くあり、あいさつは「ナマステ」がよく使われます。ナマステは、朝昼晩関係なくできる挨拶で、胸の前で手を合わせて挨拶します。

ピスタさん：
ネパールで少し日本語を勉強してから来ました。まだ完全にわからないところもありますが、なるべく日本語を話すように心掛けています。

タバさん：
専門学校の授業はすべて日本語です。ピスタさんと二人で話す時は、まだネパール語がたくさん出てしまいます。

5 食事

「ダルパート」というネパール伝統料理がよく食べられています。

タバさん：
ネパール料理はインド料理と近いですが、あまり辛くなく食べやすいです。

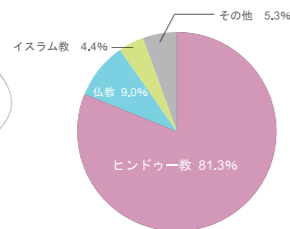
タバさん手作りのダルパート。材料は日本でも購入できるものが多い



6 宗教

ヒンドゥー教が最も多いものの、仏教・イスラム教など多宗教です。

ピスタさん：
元はヒンドゥー教のお祭りであっても最近では仏教徒も参加するなど、おおらかな信仰者も多くなってきています。

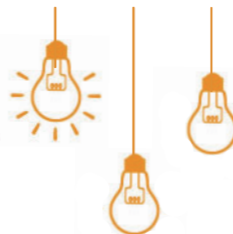


7 ライフライン

電気の供給はとても不安定です。

首都カトマンズにおいても、日常的に1日8時間程度は計画停電が実施されています。

タバさん：
ネパールの電力はほぼ水力発電でまかっています。ライフラインの中では電気の供給が日常生活で一番困っていることでした。



ネパールのことを身近に感じてほしい。

2015年5月21日、ハリウッドビューティ専門学校に在学中のタバ・サルミラさんとピスタ・マンタさんが、学校で集めたネパールへの救援金を東京都支部にお持ちくださいました。

「赤十字を通じて故郷の復興に役立ててほしい。」
赤十字の活動は、こうした一人ひとりの思いと行動に支えられています。

ネパールという国とそこに暮らす人々のことを知ってほしい。
東京にいながらもネパールのために懸命に行動するお二人に、ネパールの“日常”について伺いました。

タバ・サルミラさん(左)
ピスタ・マンタさん(右)



1 ネパールという国

国土面積は約14.7万kmで北海道の約1.8倍。
首都はカトマンズ、人口は約2,780万人です。



タバさん・ピスタさん：
私たちがカトマンズ出身です。今回の震災は、国の中心地で起こったことでした。

2 産業

多くの観光地がある観光大国です。

農業が主な産業ですが、ヒマラヤ山脈などの自然資源や世界遺産が多くあるため観光業も大変盛んです。



ピスタさん：
今回の震災でカトマンズ近郊の歴史的な建物が多く崩壊してしまいました。観光業の復興が大きな課題です。

多くの歴史的建造物が崩壊してしまっただルバール広場

3 お祭り

365以上のお祭りがあると言われていたほど、生活とお祭りは切り離せません。

タバさんとピスタさんに伺ったネパールの代表的なお祭りを2つ紹介します。

TEEJ -ティーズ- (8月9月ごろ)

既婚女性がこの日一日断食をして配偶者のために祈るお祭り。現代では未婚の女性も参加します。このお祭りの間は国中のいたるところで美しい赤いサリーやビーズのネックレスを身にまとい、歌って踊る女性を見ることができます。

ピスタさん：
とても大切なお祭りなので、地震の被害できちんと開催できるかが少し心配です。



DASHAIN -ダサイン- (10月ごろ)

ダサイン祭はネパールのお祭りの中でも一番期間が長く、最も喜ばしいお祭りと考えられ、ネパール中の人々が祝います。このお祭りは新月から満月までの15日間にわたって祝われます。

タバさん：
お祭りの期間は会社も学校もお休み。帰省して家族と共に過ごします。



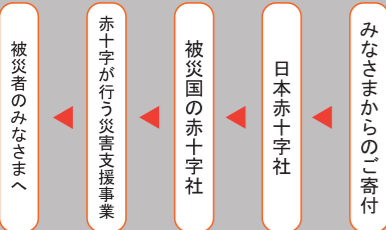
ネパールから赤い衣装を持参し、日本でも家族や友人とお祭りをする

日本赤十字社がお預かりした
ネパール地震救援金の総額は

約 13億2000万円

(2015年6月19日時点)

海外救援金が現地に着くまで



被災国に救援金を届ける際に、手数料等は一切頂いておりません。

お預かりした救援金は日本赤十字社を通じてネパール赤十字社に届けられ、赤十字が行う被災者の方々への災害支援事業に充てられます。



ネパール地震後、
日本から
家族を想っています。

今回の地震で、私たちは祖父と祖母をそれぞれ亡くしました。他の家族は無事でしたが、今は仮設テントで暮らしています。すぐに国に帰ることはできなくても、なにか日本のできることはないかと思い、学校の協力もあって学内で救援金を募集しました。私たちの所属するコースは、50人いる生徒の全員が海外からの留学生なのですが、みんな出来る限りの協力をしてくれました。日本でも多くの救援金が集まっていると聞き、とてもありがたいと思います。わたしたちには、日本で美容の技術を学んで母国で店を開くという夢があります。これから復興のために歩んでいくネパールを、東京から支援していきたいと思っています。

発災から約2か月が過ぎ、外傷治療が必要な人は減ってきている。しかし支援はこれで終わりではなく、現地の人が自分たちで国を再建していける仕組みが必要。そのために日赤は現地の若手ボランティア約700人に対し健康教育を実施。震災前以上の環境づくりをサポートする。



地域に公衆衛生を普及させる高校生の赤十字ボランティア



祖国のために。若手ボランティアも積極的に支援に参加する



教育を受けた人は、また他の人へ知識を伝えていく

緊急救援だけじゃない。復興の力を握るのは知識を学んで実践する現地の若手ボランティア

日本を含む30か国*の赤十字社がネパールで支援を行っている。赤十字は、各国が参加する調整会議を毎日開催。また日赤チームはメラムチ村を管轄するネパール赤十字の職員ともミーティングを重ね、常に支援内容の改善に努めている。

※5月22日現在



ネパール赤スタッフとのミーティングで支援ニーズを細かく把握



ノルウェー赤・アイスランド赤のスタッフ。各国の思いを集結し活動を続ける



村の担当者に現地の状況を聞き取りする香港赤スタッフ

世界中にある赤十字だからこそ。思いと技術を集結した各国スタッフが包括的な支援を目指す。

助けたい、その思いを追う

必要不可欠なのは、現地の医師やボランティアの力。赤十字の活動とともに、その思いを追っていきます。

チーティズ・サブコタさん（27歳）
メラムチ村駐在医師

地震発生時はカトマンズにいましたが、メラムチ村の患者さんを一刻も早く助けたいと思い、翌日すぐに村に戻りました。

診療を開始した直後は1日にいつもの数倍の5～600人もの患者さんが診療所に殺到し、その半数以上は深刻なけがを負っていました。

わたしもう一人の医師で、昼夜を問わずに患者さんを受け付けて、なんとか診療を続けていました。体力的にとっても厳しい状況になっていたので、保健医療チームが来てくれた時は本当にうれしかった！



診療所の現地職員とともに治療にあたる日赤スタッフ

日本赤十字社の先遣隊が活動開始。懸命に患者を見続ける現地医師のサポートにあたる。

ネパール赤十字社は災害対策本部を即座に立ち上げ国内ボランティアとともに負傷者の応急手当を行った。動員されたボランティアはのべ7,686人。ネパールには発災初期における即時被害調査の研修を受けたボランティアや職員がおり、救援物資の配布などに活躍した。また、国際赤十字・赤新月社連盟を通じて緊急援助を要請。これにより世界中の赤十字がネパールに援助に向かった。



発災直後の街の様子。歴史的建造物も多く崩壊した



ネパール赤十字社はすぐに緊急支援を開始

のべ7686人の国内ボランティアを動員し、ネパール赤十字社が支援活動を開始。

6月2日

6月1日

5月17日

5月12日

5月6日

4月30日

4月29日

4月28日

4月27日

4月26日

4月25日 夜

M 7.8 地震発生

日本赤十字社先遣隊先遣員として1人を派遣

先遣隊4人（医師1・看護師2・事務1）を派遣

国際赤十字・赤新月社連盟より被害の大きかったメラムチ村等での医療支援を要請される

先遣隊先遣員が現地入り

先遣隊全員が合流・診療を開始

ERU（緊急対応ユニット）第一班12人と広報担当職員を派遣し活動開始／中国紅十字香港支部の職員1人も共に活動し、6月9日まで同メンバーで活動を続ける

ヘルスポストの機能回復

村にあるヘルスポスト（簡素な医薬品が整備された救護所）の再建と巡回診療の実施。崩壊したヘルスポストを再建するところから支援開始。

こころのケア

震災で心に大きなダメージを受けた人々に、臨床心理士が中心となり「こころのケア」活動を実施。折り紙教室や花壇の整備などを通じ交流を図る。

日赤が行った支援の“4つの柱”

メラムチ村にある診療所の支援

現地医師やボランティアと協同して村に元々ある診療所で患者さんの診療にあたることに。近隣の外国医療班からも患者を受け入れた。

地域保健支援

発災後すぐに現地ボランティアに対して健康や衛生の知識と技術の教育を実施。今後の復興のためには現地ボランティアがキーマンとなる。

現地の調査・ネパール赤十字社や国際赤十字との協議のため職員1人を派遣

広報担当職員1人を派遣

カトマンズに日本赤十字社の代表部設置の準備開始

5月23日までに、4202人を診療	
巡回診療	336人
こころのケア	351人

雨季が始まる前の近隣の村の復興支援要員として2人を派遣

ERU第二班（16人）を派遣

今後、復興に向けて支援を続けていく

僕が感じたネパールの“いま”

地震が起きてから約2週間後、広報担当としてネパールに赴いた日本赤十字社 企画広報室の佐谷尚紀主事。
日本に戻った佐谷主事が語った、現地で感じたこととは？

ネパールに向かうまで

地震発生直後にネパールに向かった広報担当と交代するから、ちでネパール入りしました。日赤として、2度にわたって広報担当を派遣することは珍しく、それだけ今回の地震災害の現状と救援活動を日本の方々に伝えたいという思いが強くあったということ。僕は日赤の広報としての派遣でしたが、日赤の活動だけに注視するのではなく、先入観なく現地の人々が向き合っている現実を感じ、伝えること。それが使命であるということ。それを心に刻んで、ネパールに向かいました。

実際現地入りした印象

首都カトマンズに到着したとき、自分が想像していたよりは被害が少ないという印象を持ちました。しかし、日赤が活動している、カトマンズから2時間半程度のメラムチ村に近づくと、つれて「やはりここは被災地なんだ」と痛感しました。道にあふれる人や、舞うほこりに苦しむ人。その中でもなんとか生きていこうとする強さを、診療所までの道中ですでに強烈に感じていました。

現地の人との交流

ネパール語が話せなかったのに、現地の通訳を介してのコミュニケーションで、ネパールの人はとてもシャイで、最初の頃は挨拶をしてもなかなか返事はありませんでした。でも会うたびに笑顔で「ナマステ」と声を掛けていくと、徐々に笑顔を返してくれたり、「ナマステ」と返事を返してくれる人も多くなりました。

治療の痛みに泣いている子どもも、スタッフが簡単なネパール語で励ますとなんとなく安心したような表情に変わることもありました。相手が自分たちの言語を話そうとしているということが少しずつ信頼に繋がったのかもしれない。言葉は完全には通じなくても、そうした生のコミュニケーションを持ってこるとで徐々に心を開いてくれ、地元の方と過ごす時間は私たちにとてもかけがえのない時間となりました。

被災地での暮らし

地震発生後2週間以上が経過した5月12日に大きな余震（M7.3）が起こったこともあり、地元の人の中では「大きな地震が



ネパールの子どもたちとともに。インタビューページの写真はすべて佐谷主事が撮影したもの



壊れた家屋の前で立ち尽くす人。メラムチ村周辺は9割の家屋が倒壊していた



「大きな地震が再度起こる」と不安そうな人々。日赤スタッフが熱心に説明をする

再度起こる」という噂やデマが蔓延していました。それにより、子どもを外で遊ばせることができなくなるなど、余震への不安が非常に大きくなっていました。日赤の臨床心理士がデータをを用いて懸命に説明し、納得してもらえたときはとても嬉しく思いました。

広報担当としての葛藤

自分は日赤の広報担当として、日本にネパールの現状・日赤の救援活動を伝えることが使命だと思っ活動をしていたのですが、伝えよう、いい絵を取めようとするあまりに現地の人の感情をおさげにしてしまったのではと思うことが何度かありました。レンガが頭に落ちてきて緊急搬送されてきた重症患者が運ばれていくときにも、そばで泣いている家族を見ながら、シャッターを切り続けなければならぬ。そのときどうすべきだったのか、それは今後も広報に携わる人間としてずっと考え続けなければならないことだと感じています。

今後の復興に向けて

ネパール、特に日赤が支援を行ったメラムチ村では、建築やイン

佐谷 尚紀 Satani Naoki
2012年入社。青少年・ボランティア課を経て、現在は企画広報室に所属。



“人”が支える赤十字

思いを共有して下さる皆さまとともに。
赤十字は世界中で活動を続けます。



世界から。東京から。みんなの力を集結し、苦しんでいる人を救う。

それを可能にする赤十字の力。

赤十字社は、世界189の国と地域に存在します。国連に加盟している国は196か国なので、ほぼすべての国にあるということです。各国赤十字社は、「国際赤十字・赤新月社連盟」というひとつの連盟で繋がっており、災害や紛争の際には即座に世界的な調整をして国境を越えた包括的な支援活動を行います。

緊急支援のずっと先まで。

緊急支援を行う団体は数多く存在しますが、長期的な支援ニーズに応えられる赤十字は、世界的なネットワークや組織力を生かして被災者の生活が再建されるまで支援を続けることができます。フィリピン台風（2013年）やハイチ大地震（2010年）に対し、日本赤十字社は、現在でも支援活動を続けています。

みなさまの行動に支えられて。

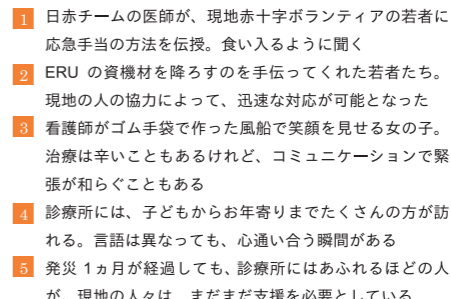
このような活動が実施できるのは、一般の方のボランティア参加や活動資金・災害救援金へのご協力など、みなさまの行動によるものです。今回の特集で触れたように、様々な人が、自分のできる限りで参加し協力しあうからこそ、それが大きな力となって苦しんでいる人を救うことに繋がります。

赤十字ボランティアへの参加

活動資金・災害救援金へのご協力

減災セミナー等講習への参加

皆さまのご参加を、どうぞよろしくお願いいたします。詳細は、日本赤十字社東京都支部 HP をご覧ください。



- 1 日赤チームの医師が、現地赤十字ボランティアの若者に応急手当の方法を伝授。食い入るように聞く
- 2 ERU の資機材を降ろすのを手伝ってくれた若者たち。現地の人の協力によって、迅速な対応が可能となった
- 3 看護師がゴム手袋で作った風船で笑顔を見せる女の子。治療は辛いこともあるけれど、コミュニケーションで緊張が和らぐこともある
- 4 診療所には、子どもからお年寄りまでたくさんの方が訪れる。言語は異なっても、心通い合う瞬間がある
- 5 発災 1 ヶ月が経過しても、診療所にはあふれるほどの人が。現地の人々は、まだまだ支援を必要としている

フラが整っていないということ、被害が大きくなった最大の原因だっただけを感じています。鉄柱が入っておらず、レンガを積んだだけの家は今回の地震で多くが倒壊しました。ネパールの復興に向けては「地震に強い家」を作ることが一つの着眼点となるでしょう。しかし、忘れてはならないのは技術を伝えようとするあまりに、土着の生活や文化を破壊してはならない、ということ。例えば、地震発生後に多くの団体が現地に入り、様々な物資の供給を行ったことにより、以前のネパールの日常にはなかったものが人々の手にわたり、悪影響が出ていた側面があります。実際、村の子どもにも「Give me chocolate」「Give me toy」などとせがまれたこともありましたが、子どもたちが欲しがっているそれらは震災以前の村の日常にはなかったものです。

元々ある診療所をサポートする方たちで支援を行いました。現地に根付いたしくみを生かした支援に、現地の人々に大変感謝されました。

日本赤十字社は、復興に向け、現在は細かくニーズの調査をしているところ。山間部は雨季に入ってしまうと身動きが取れなくなってしまうので、それまでに可能な限りの支援ができるよう、全力で活動しています。

わたしたちに、できること

復興に向け進み始めているとはいえ、長い目で見た継続的な支援がまだまだ必要だと、現地を見て強く感じます。一番大切なことは、できる人が、できることをすること。その中で、誰にでもできることは「関心を持つこと」です。現地の人々は、忘れ去られてしまうことを一番不安に思っています。発災後1ヶ月を過ぎた時点で、現地で活動する団体や募金意向、報道などが一気に減っている現状があります。今を生きている私たち一人ひとりが、被災地で苦しむ人々を思い、少しでも関心を持ち続けること。これが、現地の人々の安心に繋がっていくと信じています。

安全な医療の実現に向けて

● 医療安全の実現には全ての人の協力が

武蔵野赤十字病院

- 所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1
- 連絡先 Tel 0422-32-3111(代表) Fax 0422-32-3525
- 休診日 土曜、日曜、祝祭日、5月1日(赤十字創立記念日)、年末年始
- 病床数 611床 (一般528床・ICU8床・HCU22床・CCU6床・SCU9床・NICU6床・GCU12床・感染症20床)

武

蔵野赤十字病院は「安全な医療の提供」を最重要な医療理念の一つとしています。安全な医療の実現のためには病院に関わる全ての人たちの協力が必要です。ここではそのための当院の取組みをご紹介します。

あらゆることを報告

病

院内では毎日さまざまな出来事が起こります。そのうち医療安全に関する出来事は、電子カルテと一緒に報告システムにより、医療安全管理者が常駐する医療安全推進室に届けられるようになっていました。管理者は、届けられた報告を集計分析して周知し、さらに医療安全についての委員会や院内の関連部署と協議をして医療の安全性を確保しています。

加えて、報告を待つだけでは対応が後手に回ることもあるため、医療事故を未然に防ぐために定期的な院内の巡回も実施しています。

安全意識向上のための学びの場

病

院職員一人ひとりの安全意識が向上することで、病院

全体の安全性も高まります。このため、専門家を招いた勉強会の開催、医療安全のグループ討議の場などが作られています。

また、危険予知トレーニング(KYT)や最新の医療機器の安全研修にも積極的に取り組んでいます。

患者さんの協力も不可欠

患

者さんの取違えは大きな医療事故につながります。そこで、入院患者さんにはネームバンドを付けていただくとともに、検査や手術の際には必ずご自身でフルネームと生年月日を名乗っていただいています。何回も返事するのは面倒だと思いますが、医療安全のためにご協力をいただいています。

また、患者相談窓口では医療安全についてのお問合せや意見を受付けています。病院職員では気づきにくい視点からの貴重なご指摘もあり、たいへん有益な情報になります。

私たちは、病院に関わる全ての方が協力することでより安全な医療が実現できると考えています。ご協力をよろしくお願います。



KYTには様々な部署のスタッフが参加



院内巡回の結果はすぐにスタッフで共有します

患者とスタッフの側に薬剤師

大森赤十字病院

- 所在地 〒143-8527 東京都大田区中央 4-30-1
- 連絡先 Tel 03-3775-3111(代表) Fax 03-3776-0004
- 休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(急患は随時)
- 病床数 344床(一般326床、ICU-CCU6床、HCU12床)

● 薬剤師の役割が大きく変わっています

大 森赤十字病院薬剤部は、「患者さんの安全を守ることを役割とし、医薬品の適正評価、医薬品における安全管理に努める」を理念とし活動しています。

医療が高度化し、多様化するにつれて、薬剤師の役割も大きく拡大しました。医薬品を安全かつ適切に提供するために、薬剤部が取組んでいることを紹介します。

薬物治療は患者さんと二人三脚

現 在の薬剤師は、患者さんのベッドサイドで薬の飲み方や効果などの説明、副作用をチェックする役割も担っています。患者さんが薬物治療を正しく認識し、正確に服用していただくこともとても重要です。ご自身の病気を容し、治療方法をよく理解した上で積極的に治療を受けられることで、病気の経過の改善にも繋がります。当院では、入院患者さんの約90%の方に担当薬剤師による薬剤管理指導を実施しています。

病院スタッフの問合せ窓口にも

各 病棟に担当薬剤師を配置し、医薬品の管理とともに、スタッフの問合せにも速やかに対応

応できるようにしています。

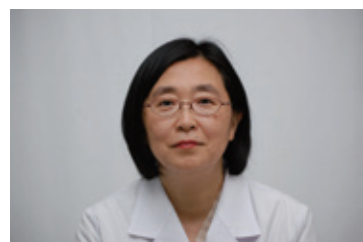
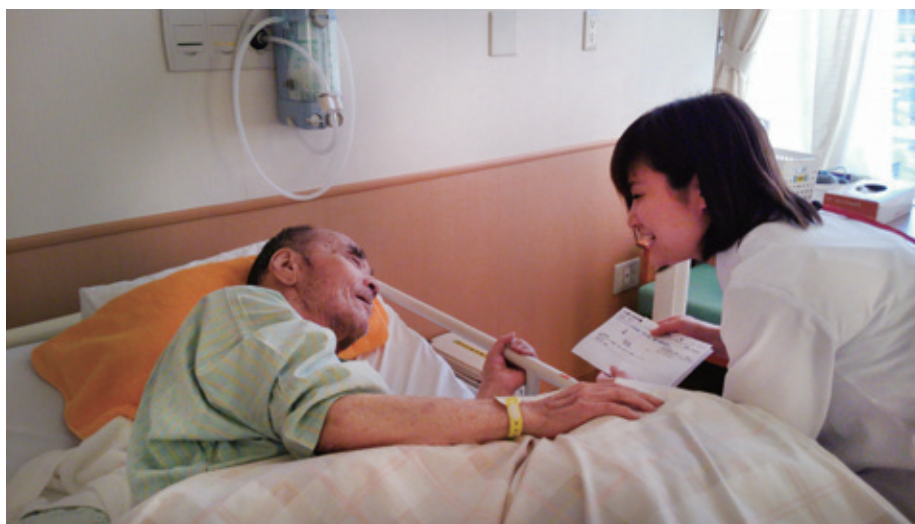
近くに薬剤師がいる環境を作ったことで、医薬品の適正使用や療安全の観点からも良い効果が現れています。スタッフは薬の疑問をすぐ薬剤師に確認することができ、薬剤師は患者さんの状態を把握しやすく、必要があれば服薬計画の提案もできます。患者さんが服用する薬は、複数の診療科、複数の病院にまたがる場合も多く、服用薬の情報収集に薬剤師の介入は不可欠です。

また、多種多様な医薬品の情報についても集積、把握し、その妥当性を評価した上で、病院スタッフにわかりやすく情報提供しています。今後はさらに、患者さんに役立つ情報発信をしていきたいと思っています。

最後に

薬 を管理するだけが薬剤師の役割だと考えていた方もいるかもしれませんが、このように病院に関わる人すべてに近いところで業務にあたっています。

私たちはさらに患者さんに安全な医療を提供できるように努めていきます。薬のことでお困りの際は薬剤師にご相談ください。



平岩 知子 (ひらいわ ともこ)

薬剤部副部長
医薬品安全管理責任者
昭和薬科大学卒業
日本薬剤師研修センター認定薬剤師
日本糖尿病療養指導士
認定健康心理士

なぜその薬が必要なのか、患者さんに理解してもらうことも大切な役割

小さいのちを見守り続ける

葛飾赤十字産院

- 所在地 〒124-0012 東京都葛飾区立石 5-11-12
- 連絡先 Tel 03-3693-5211(代表) Fax 03-3694-8725
- 休診日 日曜、祝日、年末年始
- 病床数 113床(産婦人科68床、NICU・GCU等45床)

● 退院後も続くサポート体制



※NICUは赤ちゃんのICU(集中治療室)
365日24時間の厳重な管理で小さな命を見守ります

東 京都の東北部でNICU[※]を併設している2病院の1つの葛飾赤十字産院では、年に500人くらいの赤ちゃんがNICUに入院します。当院では、入院時のサポートはもちろんのこと、退院後のケアにも力を入れています。

こぐまふれあい教室

N ICUにはダウン症の症状を持つて産まれてくる赤ちゃんも入院しています。こうした赤ちゃんとそのご家族を対象にした「こぐまふれあい教室」を2ヶ月に一度開催しています。

教室では、臨床心理士や理学療法士などによる専門的な相談や指導に留まらず、ご家族同士の交流の場も提供しています。加えて、今年度からは別の病院で産まれたお子さんも参加出来るようになって



こぐまふれあい教室では、特有の悩みなども共有できることが喜ばれています

たことで、さらに交流の輪が広がりました。

NICUの同窓会

妊 娠32週未満、体重1500g以下で産まれた赤ちゃんとその家族の同窓会が「Smileの会」です。平成15年に始まって以来年に一度開催しているこの会には、毎年約40組のご家族が参加しています。同じような経験をしたご家族が集まることで喜びや悩みを共有することができ、大変好評な会になっています。

今年が13回目になるこの会。退院時から想像もできないくらい大きく育った子たちからは、毎年私たちがスタッフも力をもらっています。今年も大きく成長した姿に会える日を、今から楽しみにしています。

同じ産院で同じような経験をした仲間が集まります
(Smileの会：平成26年)



Blood Program

NEWS

一風変わった!? 献血会場をご紹介します



献血にご協力ください。
本目東4ホールにて、献血受付中です。

来場者が毎回楽しみにしてくれている、
人気キャラクターの描き下ろしポスター



イベント会場では、いつも本当にたくさんの方からご協力をいただいています。

【写真】コミックマーケットで屋外に伸びた献血待ちの列

なんと最大
4時間待ち!

ファストパスも出る!?

初夏の陽気に包まれた5月10日(日)、東京ビックサイト(東京国際展示場・江東区)で開催された“博麗神社例大祭(はくれいじんじゃれいたいさい)[※]”というイベントで、来場された方々向けに献血を実施。この日はなんと219人にご協力いただきました。

東京都赤十字血液センターでは、コミックマーケットをはじめとしたイベント会場で、幅広い年齢層、様々なコミュニティへの献血推進を積極的に展開しています。赤十字や献血とはまったく関係がなさそうな会場に、献血バスやブースがひょっこりと登場していることも。

こうしたイベント会場では献血に初体験の方も少なくなく、「今までまったく知らなかったけれど、思ったより簡単だったので、今度は献血ルームにも行ってみたいと思います」という嬉しい感想も。もうすぐ多くのイベントが開催される夏本番。お祭りやイベント会場で献血バスや広報ブースを見かけた際には、是非ご協力いただけると幸いです。

(※) **博麗神社例大祭**とは

博麗神社例大祭とは、同人サークルの“上海アリス幻楽団”によって製作されている東方Projectというシリーズ作品のオンリー同人誌即売会の名称で、例大祭の名の通り2004年から毎年春に定期的開催されています。1ジャンルオンリーとしては国内最大規模を誇り、二次創作作品(同人誌・アレンジ音楽CD等)が各サークルより販売されるなど、会場は大変な熱気に包まれています。

赤十字は、 ジミチです。

「赤十字の活動は広すぎてわかりづらい。」
と言われることがあります。

赤十字の活動は、国や状況、理由、活動の種類を
限定しません。対象は全世界の苦しむ人々です。

確かに、エリアや対象となる人々を限定して緊急性
を訴えるほうが社会の目に届きやすく、理解され
やすいかもしれません。

しかし、赤十字は世界最大の人道機関。

その組織力があるからこそできることがあります。

緊急時の支援は当然のこと、すべての脅威から
人々を守るために全世界で活動しています。

もちろん、国内でも医療や献血、そして大災害に
対する取り組みなど、皆さまの身近なところで
活動しています。

命を守るために必要であれば、スポットライトが
当たることのないジミチな活動も大切にする。

これが赤十字のジミチです。

—— 皆さまからお寄せいただく活動資金は身近なところでも活用されています。 ——

例えば、

地域の防災力を向上するために以下のような活動を行っています。

¥5,000 で

青少年に対して
災害学習プログラムを開催。



体験用の教材や講師派遣にかかる交通費等の費用。地域における防災・減災の担い手として期待される青少年を対象に年間200件を超える実績があります。

¥10,000 で

災害時に活動する
救護ボランティアを1人育成。



災害救護に関する知識、技術を習得するための研修や現地派遣を想定した訓練等にかかる費用。地域防災におけるリーダーとしての人材育成にもつながっています。

¥100,000 で

自主防災組織への支援を通じて
地域の防災力を向上。



自治会等に対して傷病者対応のための資機材を贈呈し、それらの使用方法やその他防災・減災のノウハウを伝達するセミナーを実施するなど、総合的な支援を行います。

¥200,000 で

地区に大型の炊出し釜を
1台配備。



災害時にライフラインが停止した際に地域住民に対して炊出しを行うための資機材を配備しています。また赤十字の強みである地域に根差した組織基盤によりマンパワーを確保します。

ジミチな活動が、必ず命を守ることにつながる。この思いを大切にしています。

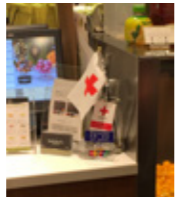
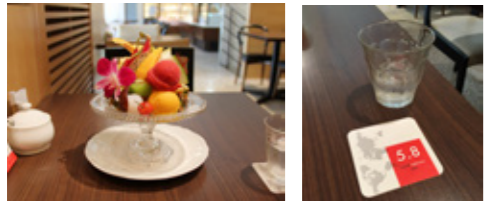
活動資金協力者（社）・団体のご紹介

皆様のご協力により日本赤十字社の活動は支えられています。
活動資金のご協力、誠にありがとうございました。

※10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた個人、法人および団体等を掲載しています。

活動資金協力に関するお問合せは
東京都支部 振興課 03-5273-6743 まで

<p>●千代田区</p> <p>菅佐原 良司 30万円 水野 正雄 10万円 (一社)霞会館 300万円 サンフロンティア不動産(株) 100万円 (株)朝日写真ニュース社 70万円 (株)システムハウスナウ 30万円 (株)シナジーカンパニージャパン 18万 1,400円 日本エンゼル(株) 16万 1,810円 (株)インフォーム 10万円 (株)コスメディア 10万円 白百合学園小学校 10万円</p> <p>●中央区</p> <p>浜田 寛子 20万円 梶原 幹雄 10万円 大地 カウ 10万円 (株)プロブレル企画 10万 4,081円 TACC(株) 10万円</p> <p>●港区</p> <p>中江 宏 100万円 櫻井 真典 30万円 川澄化学工業(株) 30万円 財世界聖典普及協会 30万円 コスメティックローランド(株) 10万円</p> <p>●新宿区</p> <p>下島 博雄 50万円 出井 弘八 10万円 林 敏雄 10万円 (株)ランドスケイプ 184万 7,641円 (株)セノン 30万円 (株)青春出版社 10万円 (株)プライム浦光 10万円</p> <p>●文京区</p> <p>佐藤 勝彦 10万円 (株)プロシップ 150万円 竹早教員保育士養成所 60万円</p> <p>●台東区</p> <p>遠藤 隆一 50万円 野口 香代子 10万円 石福ジュエリーパーツ(株) 100万円 玉姫稲荷神社こんこん靴市実行委員会 10万円</p> <p>●墨田区</p> <p>西山 恒八 100万円 木塚 靖夫 20万円 武田 紀久江 20万円 木塚 秀江 10万円 角谷 かつみ 10万円 (株)セブン&アイ・フードシステムズ 100万円 三和商事(株) 13万円</p> <p>●江東区</p> <p>坂元 左 10万円 藤村 小弥太 10万円 (株)システック 200万円 (株)京葉ファスナー 10万円</p> <p>●品川区</p> <p>河藤 湧光 130万円 菅野 鴻三 11万円 日本コンピュータ・ダイナミクス(株) 29万 6,000円 (株)オーツカ光学 10万円 品川合同葬祭(株) 10万円</p> <p>●目黒区</p> <p>日野 儀光 200万円 長田 信夫 20万円 (株)昭和イーティング 30万円</p>	<p>●大田区</p> <p>池野 公脩 100万円 橋本 養三 80万円 白井 芳子 10万円 戸田 彰 10万円 嵯峨電機工業(株) 100万円 蓮光院 100万円 帝王電機(株) 50万円 (公)雪谷法人会 15万 5,819円</p> <p>●世田谷区</p> <p>小嶋 淑子 200万円 大矢 實 100万円 箕 千つる 30万円 田中 千加子 20万円 小嶋 召子 10万円 西田 依麻 10万円 映心産業(株) 10万円</p> <p>●渋谷区</p> <p>矢島 基臣 500万円 (株)メタポリック 400万円 (株)エッチアンドエス ファッションデザインスタジオ 10万円 矢崎不動産オフィス(株) 10万円 東京亀有ライオンズクラブ 30万円</p> <p>●中野区</p> <p>佐分利 リユ子 20万円 戸原 章子 20万円 林 リリ子・聖 10万円</p> <p>●杉並区</p> <p>齋藤 典子 50万円 金澤 昭子 30万円 本橋 忠藏 20万円 匿名 20万円 (株)ランロードオフィス 100万円 (株)サンライズ 50万円</p> <p>●豊島区</p> <p>小田切 直男 20万円 東京リゾート&スポーツ専門学校 20万円 メルスモン製薬(株) 10万円</p> <p>●北区</p> <p>匿名 500万円 匿名 500万円 入澤 隆 50万円 金子 二四男 15万円 金子 ハツエ 10万円 匿名 10万円 (株)マエノ薬局 202万 9,460円 第一化学工業(株) 10万円</p> <p>●荒川区</p> <p>益子 賢一 200万円 匿名 100万円 匿名 50万円</p> <p>●板橋区</p> <p>瀬戸川 睦人 100万円 山口 治雄 100万円 (株)曠淳開発 20万円 (株)つくし工房 10万円</p> <p>●練馬区</p> <p>酒巻 士朗 100万円 横山 浩之 50万円 田中 孝 20万円 兼山 多満子 10万円 瀬尾 きよの 10万円 (株)角産 20万円 バイオニア工機(株) 10万円</p>	<p>●足立区</p> <p>小倉 伸一 50万円 増山 元美 50万円 梶 富美子 30万円 清水 延晏 20万円 荒木 秀子 10万円 堀内 秀晃 10万円 (株)ナカネ 10万円 東京西新井ライオンズクラブ 50万円</p> <p>●葛飾区</p> <p>石川 良夫 150万円 月村 泰之 10万円 吉田 和代 10万円 (株)稲葉製作所 50万円 (株)衛生微生物研究センター 10万円 濱田電気工事(有) 10万円</p> <p>●江戸川区</p> <p>吉野 茂男 30万円 岩橋 孝男 10万円 嶋田 慶三 10万円 神田製作所八親会 会津 和俊 10万円 (株)宮崎 10万円</p> <p>●八王子市</p> <p>高津戸 道夫 20万円 大島 富子 10万円</p> <p>●立川市</p> <p>中村 智英子 10万円 中村 陽子 10万円 鳴島 幸枝 10万円 金子 利津子 10万円 中村建設(株) 50万円</p> <p>●武蔵野市</p> <p>山崎 喜哲 10万円 (有)ワタヤ 10万円</p> <p>●三鷹市</p> <p>佐藤 多満代 20万 5,000円</p> <p>●青梅市</p> <p>片山 宗弘 100万円 片山 恵利 50万円 片山 晋 30万円 浜中 教孝 20万円</p> <p>●府中市</p> <p>吉野 幸雄 100万円</p> <p>●昭島市</p> <p>小山 善治 10万円</p> <p>●調布市</p> <p>匿名 100万円 魚返 美智代 80万円 鴨下 尚子 50万円</p> <p>●町田市</p> <p>武川 節 100万円</p> <p>●小金井市</p> <p>鈴木 富雄 10万円 小金井市赤十字奉仕団 18万 1,705円</p> <p>●日野市</p> <p>遠藤 和子 100万円 西原 勇 50万円</p> <p>●国分寺市</p> <p>米木 龍雄 10万円</p> <p>●福生市</p> <p>大熊 信博 20万円</p> <p>●狛江市</p> <p>高木 和江 20万円 (株)アルテックス 10万円</p> <p>●多摩市</p> <p>柚木 ミエ子 10万円</p> <p>●清瀬市</p> <p>コーヒーハウスのぼ 森尻 安夫 10万円</p>
---	--	--



※上記 map には掲載できていませんが、エリア内の美容室
17店舗でもミニフラッグを設置していただきました。

redcross cafe 開店

日本看護協会
神宮前 5-8-2

【飲食】
カフェ ル・ポミエ
神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 2F



日本看護協会ビル前のスペースでオープンした「redcross cafe」。モチーフは『アンリー・デュナン』と世界赤十字デーの『5.8』。赤十字を感じられる書籍と共に、カフェ・ル・ポミエのドリンクが楽しめるスペース(上)と、世界の災害や紛争などを体感することができるワークショップ(左)を展開。5月2日～6日の5日間で600人を超える方にご来場いただきました。



原宿・表参道キャンペーン 2015

日本赤十字社が5月に表参道へフラッグを掲出するようになって7年目になる。表参道のシンボルでもある櫛の清々しい『新緑』と、赤十字の『白地に赤』が織りなすコントラストを多くの方が目にしていくことだろう。

そもそも明治神宮の表参道であるこの地は赤十字との縁も深い。神宮に祀られている明治天皇・昭憲皇太后は日本赤十字社の黎明期を陰日向になり支えてくださった。そのご縁もあり、毎年全国赤十字大会を明治神宮会館で開催している。

表参道と言えば、有名ブランドが並び、話題のスイーツやカフェが集まる...というイメージだろうか。けれども、こうして赤十字を絡めた歴史と文化の面から改めて眺めてみれば、また違った表参道が見えてくるかもしれない。



アンリー・デュナンの誕生日であり、世界赤十字デーでもある『5月8日』を今年のキーメッセージに



脳がよろこぶ!
プレゼントが
あたる!

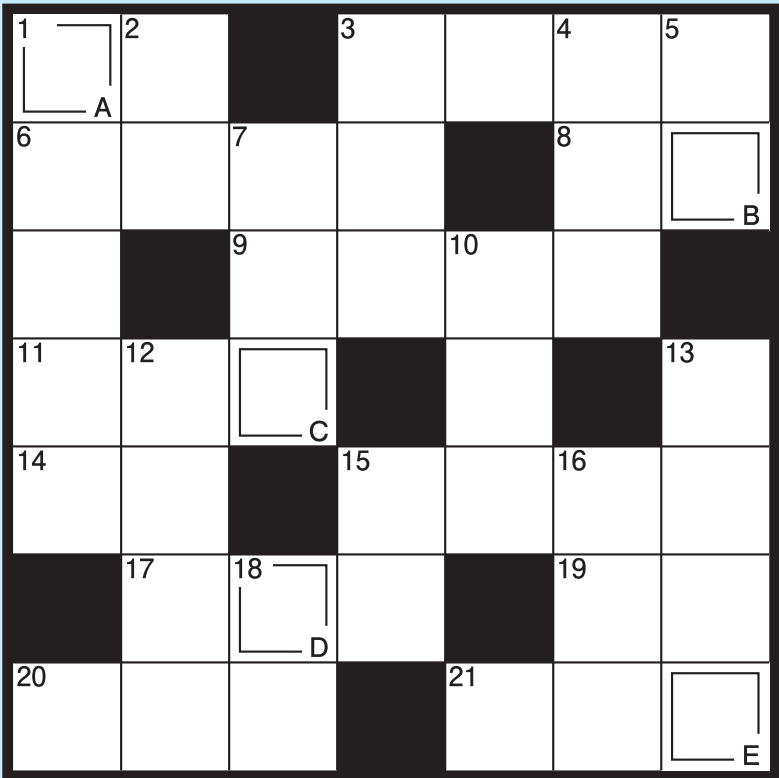
パズルで 5分間 脳トレ

クロスワードを解き、A~Eの文字を拾って解答欄を埋めてください。A~Eのカタカナで言葉を完成させてください!

- 1 イチゴ、ブルーハワイ、宇治金時...
夏ならではの冷々冷々スイーツ
日差しから目を守る、〇〇グラス
何事もそつなくこなす人
別名・ターメリック。カレーの黄色い成分
〇〇コースは、牛の肋骨当たりのお肉
夏にはお中元を贈ります
説明を聞き、その仕組みが「わかったー!」...
漫才は、ボケと?
ペットの「主人」
アナタがいま読んでいます
緑黒縞々、夏のフルーツ
コスト削減してなくしたいもの

- 1 パラソルもこの一種
お盆には馬になる野菜
縁日ですくえ!
目の上の〇〇。邪魔ですね
夏の軒先でチリン。涼しげな音を鳴らします
妻をおとつと...とサポートする人?
パーセンテージ、百分〇〇
ビーチで〇〇〇〇浴、夏ならではのレジャー
パスタやうどんの主原料
西向きや尾は東
出てないのは嘘泣き?
お札を日にかざすと見えるもの

クロスワード



パズル出題・進藤麻希

解答

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

プレゼント

プレゼント A スペアペア

■レンズ横のツマミで度数調節でき、検眼の必要がなく、遠近両用、シニアグラスとしてもすぐ、簡単に使えます。
■防災・減災の必須アイテムとして。その場での調節で着用者を選ばず、一時的な視力確保に役立ちます。



10名

提供:アドレンズ ※全5色からいずれか一つ

プレゼント B 1/72 塗装済完成モデル零戦五三丙型



3名

提供:童友社
■組立・塗装済み完成品/ディスプレイスタンド付
■モデル全長約170mmと存在感があり書斎用としてもピッタリ
※写真の賞品とデザインや色等は異なる場合があります

プレゼント C 赤十字オリジナル LEDライト



10名



応募締切 (当日消印有効)
8月31日

前号の解答

A	B	C	D	E
ラ	ン	ド	セ	ル

パズルに関するお問い合わせは→パズルのことならなんでもおまかせ! 株式会社フォーティアワーズ info@40hours.co.jp